授業科目の履修等について

Ⅰ　授業時間と単位

本学では，実時間50分を１時間とみなす。

講義，実習などの単位数の換算は，次のとおりである。

(1) 講義　　計15時間で１単位
(2) 演習・ゼミ　　計30時間で１単位
(3) 実習　　計45時間で１単位

授業時間は原則として下表のとおりである。

1時限目	9時00分～ 9時50分
2時限目	10時00分～10時50分
3時限目	11時00分～11時50分
4時限目	12時00分～12時50分
昼休み	
5時限目	14時00分～14時50分
6時限目	15時00分～15時50分
7時限目	16時00分～16時50分
8時限目	17時00分～17時50分

Ⅱ　授業科目の履修と試験及び論文提出

１．博士前期課程

1）履修方法

環境保健科学専攻

①特論について

「アカデミック英語コミュニケーション」「科学者・研究者論」は，全ての学生にとって必修科目となる。(４単位)

自己の所属する専門分野の特論は，必修とする。それ以外に，選択科目として他の専門分野の特論科目及び獣医学研究科動物応用科学専攻博士前期課程の特論科目（動物応用医科学特論は除く）から２科目以上を選択して，合計30単位以上を修得する。ただし，教職の専修免許状の取得を希望する場合は環境保健科学専攻の特論科目を修得すること。

②特別演習Ⅰ・Ⅱについて

自己の所属する専門分野の特別演習Ⅰ・Ⅱは必修とする。また，他の専門分野の特別演習は履修することができない。

③特別実験Ⅰ・Ⅱについて

自己の所属する専門分野の特別実験Ⅰ・Ⅱは必修とする。これらの科目の単位数はそれぞれ６単位と８単位であるが，各自が決めた研究テーマに沿って指導教員のもとで随時実験を行うため，時間割の時間帯以外でも実験を行うことがある。

④自由科目について

自由に選択でき，合格すれば修得単位となる。ただし，修了要件の単位数に算入されない。

2）試験

講義と演習については，原則として授業終了時に試験を課して，単位認定と成績の評価が行なわれる（大学院学則第８条）。ただし，平常の成績または報告をもって単位を認定し，評価する場合もある（研究科規則第７条第１項）ので日頃の勉学態度が重要である。

また，２年次の学年末には論文審査と同時に最終試験が課せられる。

3）修士論文の作成と提出

入学後，所属する専門分野の指導教員と相談して研究テーマを決めた後，１，２年次を通して研究を行い，その結果を次の経過を経て修士論文としてまとめ，提出する。

①中間発表会用論文題名及び論文要旨の提出：２年次の７月中旬
②中間発表会：２年次の８月上旬
③論文題名の提出：２年次の11月中旬
④審査用論文の提出：２年次の12月上旬
論文を当該主査に提出する。
⑤論文要旨（審査会用）の提出：２年次の２月上旬
⑥論文審査会での発表：２年次の２月中旬

提出された論文の内容について，大学院担当教員等に公表し，質疑応答を受け必要な修正等を行う。

⑦論文要旨及び学位論文の最終提出：２年次の２月中旬～下旬

所定の学位申請書と共に研究科教授会に提出する。ただし，それまでに環境保健科学専攻においては必修科目26単位，選択科目４単位以上を修得していなければならない。（研究科規則第８条第２項）。

⑧修士論文の審査等は必要に応じて，９月にも行う。

2．博士後期課程

1）履修方法

①特別演習Ⅰ・Ⅱについて

自己の所属する専門分野の特別演習Ⅰ・Ⅱは必修とする。

②特別実験Ⅰ・Ⅱについて

自己の所属する専門分野の特別実験Ⅰ・Ⅱは必

修とする。学生は所属する専門分野で指導教員の指導のもと，博士論文作成のための実験を行う。

③自由科目について

自由に選択でき，合格すれば修得単位となる。ただし，修了要件の単位数に算入されない。

2）試　験

特別演習については原則として最終講義終了時に試験を課して，単位認定と成績の評価が行われる（大学院学則第８条）。ただし，平常の成績または報告をもって単位を認定し，評価する場合もある（研究科規則第７条第１項）。また，３年次の学年末には博士論文の審査と同時に最終試験が課せられる。

3）博士論文の作成と提出

所属する専門分野の指導教員と相談して研究テーマを決めた後，１～３年次を通して研究を行い，その結果を次の経過を経て博士論文としてまとめ，提出する。

①中間発表会用論文題名及び論文要旨の提出：３年次の７月中旬

②中間発表会：３年次の８月上旬

③論文題名の提出：３年次の11月下旬

④審査用論文の提出：３年次の12月上旬

論文を当該主査に提出する。

⑤論文要旨（審査会用）の提出：3年次の2月上旬

⑥論文審査会での発表：３年次の２月中旬

提出された論文の内容について，大学院担当教員等に公表し，質疑応答を受け必要な修正等を行う。

⑦論文要旨及び学位論文の最終提出：３年次の２月中旬～下旬

所定の学位申請書と共に研究科教授会に提出する。ただし，それまでに必修科目12単位を修得していなければならない。（研究科規則第８条第２項）。

Ⅲ　最終成績の判定

論文審査に合格した学生には最終試験を課し，その成績と授業科目の成績によって最終成績を判定し，大学院博士前期課程または後期課程の修了を認める。